

令和 6 年 12 月 23 日

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名称…グループホーム 久米の家

サービス種類…認知症対応型共同生活介護

会議開催日…令和 6 年 12 月 12 日（木） 13 時 30 分～14 時 30 分まで

開催場所…グループホーム 久米の家 ホール

出席者

事業所	2 人	利用者	0 人
利用者家族	0 人	地域代表者	3 人
松江市職員	1 人	包括支援センター	0 人
知見を有する者	0 人	その他（ ）	0 人

議事

- ◆ 「困難と感じたケアの事例」～今も私達職員は悩んでいます～について
M 様 80 歳 介護 1（ご入居前に申請され介護 1 ほぼ自立と診断されていた）
令和 6 年 10 月 24 日入居 今年の 5 月から兄と 2 人暮らし それまで独居
生活保護を入居と同時に申請

生活歴や既往歴・現病気について発表

入居の経緯

- ・兄宅での生活でも日中夜徘徊あり、場所の認識や失行、失認等、薬を誰かに捨てられたなど被害妄想があり。夜になると焦燥感が強まりウロウロされ高齢の兄の手におえず在宅での生活を断念され 10/24 に当ホームに入居される。

入居時の様子

- ・認知症の周辺症状もあり環境を整え受容的な対応を心掛け、行動や言動に対して否定はせず寄り添い対応をしました。まずは、職員となじみの関係になり信頼関係を作る。当初から「イライラが止まらない」「食べても食べても満たされない。」「すぐに食べれない事に腹がたつ。」と 1 日 5 食くらい食べられる。ご自分でも気持ちを抑えられない・・・と心療内科の医師にも話され薬の調節をされるが気持ちの入れ替えが出来ず興奮状態が多くなる。趣味の写真も破られたり、兄の動画も効果がなくなる。

カンファレンス

- ・兄に週 1 で面会の協力をお願いする。面会時居室で一緒にお茶を飲んで頂く事で居室がよい環境にかわるように。
- ・兄と確実に電話が繋がる時間の確保
- ・的確な情報を医師に伝える事で適切な薬の提供
- ・生活のストレスの軽減

- ・便処置（統計で便が出ていない日は、いつまでも興奮しておられる事が多い）
- ・帰宅願望時について歩くより、車に乗られると気持ちが落ち着く事がわかる。大好きな「アンパン」と「コーラ」を一緒に買いに行きドライブをする。

経過

- ・色々とケアをかえたりカンファレンスを繰り返すが効果なく次第に夜間中途覚醒や入眠前に性格が数分で豹変されるようになる。（夜間を中心に）
- ・夜間居室の壁や戸口を蹴ったり叩かれる。
- ・物や机を倒したりと手が付けられない状況があり。
- ・中途覚醒で寝れない為他ご利用者の居室を蹴って歩かれる。
- ・中途覚醒時、ホールにおられたご利用者に向かって行かれ、それをかばった職員を何度も殴られる。
- ・11/28 医療保護入院となる

意見交換

（事業所）

- ・職員間で何が悪かったのか・・・どうしたら良かったのか・・・と未だ悩んだケースです。退院後どのように今後対応したらいいのか。
- ・精神科入院はご利用者の人生を変える事もあり、今までの対応がどうであったか・・・。正しい対応はどうしたらよかったのか。
- ・夜間怖い思いをされた職員もそれを引きずる事なく変わらぬ対応をしてくれた事に感謝している。

（包括センター・地域住民）

- ・ご自分でも気持ちを抑えられない・・・と本人が言われていたので本人も苦しんでおられたと思うので医療保護入院は適切であった。
- ・久米の家で色々と手を尽くされた結果の入院であるので十分されたと思います。
- ・職員を守る手立ても事業所として考えて欲しい。殴られた時に警察を今後は呼ぶべきでは。
- ・入居してみないとわからない事もあり大変なケースでした。ケア内容を非議せずにやって欲しい。

○活動報告と現状報告

利用者 9名（女性5名 男性4名）

年 齢 平均 84 歳

介護度 介護 1（3名） 介護 2（3名） 介護 3（3名）

介護 4（0名） 介護 5（0名） 平均 2.1

職員 管理者 1名 ケアマネージャー1名

介護職員 9人（常勤 7人 非常勤 2人・短縮時間制度利用 2名）

介護福祉士取得 8人

認知症基礎研修 1人

調理職員 4名（非常勤 4名）

- ・行事やレク等報告
 パワーポイントで写真や動画を使って発表する
- ・ヒヤリハット報告

ヒヤリハット種類	10 月	11 月
転 倒や尻もち	0 件	6 件

内容

11 月の 6 件とも同じご利用者（今回の議題のご利用者）

- ・ホームから帰りたい・・・と職員を振り切って出られ付き添っていたが足がもつれ膝が地面についてしまわれる。
- ・居室での転倒や尻もち

対策

- ・職員と一緒に出られたら別の職員が早目に車で迎えに行く。
- ・ベットでなく畳に布団を敷いて対応。
- ・居室の戸口を少し開け足元灯がついたら見守りを強化。

○委員会活動

虐待防止委員会⇒ZOOM で研修会に参加

身体拘束排除委員会⇒WEB 研修会 LINEWORKS に研修動画を投稿し自己研鑽する

業務継続委員会⇒4 回目の災害訓練を実施

⇒基本にかえり BCP とは何か？の研修を行う

生産性向上委員会⇒記録内容を見直し。介護の手順書になる記録を目指す

○その他

- ・看取りを行ったご家族より感謝の手紙が届きました。
- ・現在自己評価中ですが「理念の追加」「地域密着型の意義」について話し合い、認知症の方が地域で暮らし続ける為にも機関紙で認知症についてのコラムを入れていくとの案が出る。
 ⇒地域の方からも推進会議で出た話しももっと掲載して欲しい等の意見あり。

※事業所確認欄

☐ 活動報告についての評価を受けることができたか。	○
☐ 要望・助言等受ける機会を設けたか。	○